

令和4年度 学校だより

かけはし

匝瑳市立八日市場小学校

11月号② No.13

<https://sosa-yokaichiba-es.net/index.html>

※HPIには、かけはしカラー版を掲載中です

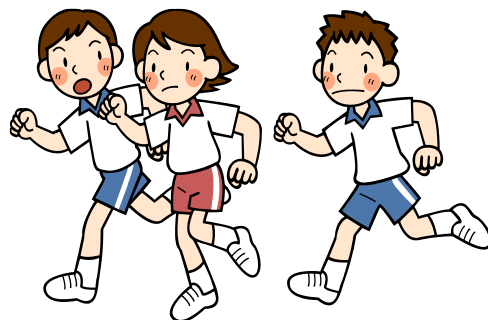


マラソン大会に向けて !

来週の22日に、校内マラソン大会が実施されます。子どもたちは大会に向けて練習に取り組んでいます。今年度の参観については、屋外ということもあり、保護者の方の人数制限は設けていません。多くの保護者の方々に子どもたちががんばっている姿を見ていただきたいと思います。

大会に向け、本校では、体育の授業での練習とともに、休み時間の自主的な練習の場を設定しています。多くの子どもたちが自分の目標に向けて、休み時間に走っています。私の目標は休み時間ごとに4周走ることです。子どもたちのがんばる姿を見ながら一緒に走るのはとても気持ちがいいです。

マラソンを走ることは、どの子どもにとっても体力を使い、苦しいものだと思います。私も、走ることができない休み時間があると、子どもたちと走れないという「残念」な気持ちとともに「休める」という気持ちが入り交じます。子どもたちも、目標に向かって取り組む中で、葛藤があるのではないのでしょうか。だからこそ、マラソンは価値がある教育活動だと思います。自分自身の「心」と向き合いながら取り組むことができる活動です。目標に向けて取り組むことで「心」がたくましくなっていくと思います。体力とともに、心を鍛えることができます。



あと1週間で大会です。学校では、体力と心の成長を目指して子どもに関わっていきます。ご家庭でも、目標に向かって取り組む子どもたちを後押ししていただければと思います。順位ではなく、すべての子どもたちが「心」を成長させることができるマラソン大会になればと期待しています。

笑顔いっぱいの子ども

マラソン大会に向けて走っている姿は、本当にいいものです。そんながんばる八日市場小学校の子どもたちですが、特に、1年生と2年生の走り方に驚かされます。全力疾走するのです。もちろん、ずっと全力で走り続けることはできません。途中で止まって休んでしまいます。私は走りながら「同じペースで」と声かけしますが、とにかく1・2年生の中には、全力で走る子がたくさんいます。

3年生くらいになると、自分のペースで走るようになります。長い距離を全力で走ることにはできないということを経験から学習するのでしょうか。私が「同じペースで」としつこく助言しなくても、子どもたちは経験から学びます。私たち周りの大人は、つい「最適なこと」「よりよいこと」を助言しますが、子どもは自ら学んでいく力を持っているのですね。

1年生と2年生、いろいろなことを経験して大きく成長してくれるように、私は適度に助言しながら見守って走っています。

